



今朝（2016年2月12日）のニュースで、アインシュタインが100年前に存在を予言した“重力波”について、米国を中心とした国際研究チーム LIGO が初めて直接観測することに成功したと報じていました。昨年9月に、二つのブラックホールが合体した際に出た13億年前の重力波を観測したとのこと。この意味とすごさが私にはよく分かりませんが、最近の宇宙物理学では、素人の想像もつかない宇宙像を研究しているらしいです。マルチバース（例えば、<http://space.mit.edu/home/tegmark/crazy.html>）なんていう話を聞きますと、年齢138億歳のこの宇宙の片隅の地球の片隅の日本の片隅の東海村の片隅でフーフー言いながら細かいことをこちゃこちゃやっているのが一体なんなのか... などと思ったりしてしまいます。

（気を取り直して、）さて、核データニュースの今月号も、様々な核データ関連国際会議などの興味深い話題が満載です。とくに最近、若手研究者の執筆が多くなってきたのは、次の世代に期待している年寄りとしては非常にうれしいことです。どうぞ楽しんでお読み下さい。

石川 眞 2016年2月

* 今号にて掲載予定でした2015年核データ部会学術賞に関しては都合により次号に掲載します。

日本原子力学会核データ部会
核データニュース編集小委員会

喜多尾憲助（元放医研）、井頭政之（東工大）、石川 眞（原子力機構）、
岩本 修（原子力機構）、中川庸雄（元原子力機構）、渡辺幸信（九大）、
山野直樹（福井大）、大塚直彦（IAEA）、中村詔司（原子力機構）、
小浦寛之（委員長、原子力機構） [編集] 石橋貞子